○ 恩給給与細則(昭和二十八年総理府令第六十七号)恩給給与細則等の一部を改正する省令 新旧対照条文

別紙 第一号書式	別紙 第一号書式
普通恩給請求書	普通恩
普通恩給を給与されたく、証拠書類を添えて請求します。	普通恩給を給与されたく、証拠書類を添えて請求します。
総務大臣 殿	総務大臣 殿
年 月 日	
(フリガナ) 請求者氏名	(フリガナ) 請求者氏名
	(※代筆の場合は、請求者の印を押してください。)
退職年月日 年 月 日	退職年月日
退職当時の階級・官職名	退職当時の階級・官職名
郵便番号 — — —	郵便番号
	現 住 所
(

(傍線部分は改正部分)

第二号書式

普 通 恩 給 改 定 請 求 書 下記普通恩給を改定されたく、証拠書類を添えて請求します。 総務大臣 殿										
 普通恩給を改定されたく、証拠書類を添えて請求します。 総務大臣 殿 番号 事便番号 所県 (電話番号 		現		恩記						
 普通恩給を改定されたく、証拠書類を添えて請求します。 務大臣 殿 番号 郵便番号 所県 (電話番号 		<u>→</u>		結号						
普 通 恩 給 改 定 請 求 書 恩給を改定された(、証拠書類を添えて請求します。 殿 (フリガナ) 請求者氏名 第 新渡音氏名 (電話番号 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —		H		証番			総統	-		
普 通 恩 給 改 定 請 求 書 恩給を改定された(、証拠書類を添えて請求します。 殿 (フリガナ) 請求者氏名 第 新渡音氏名 (電話番号 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —		严		書号			X	串		
	(電話番号 — —)	119 27K	群直		(フリガナ) 請求者氏名	Д		通恩給を改定されたく、証拠書類を添えて請求します。	通恩給改定請求	

第二号書式

(電話	現住所 —— 将県	郵便番号	恩 給 証 書記 号 番 号	- 請求者氏名 (<u>※代筆の場合</u> は	(+ # L)	総務大臣 殿	下記普通恩給を改定されたく、証拠書類を添えて請求します。	普通恩給改
(電話番号 — —)			坦	請求者氏名	年月日		類を添えて請求します。	(定請求書

第三号書式

公務 傷病による恩給請 求書 [現 住 所	退職当時の 階級・官職名	退職年月日		総務大臣	公務傷疖
	郵便番号 都道		月	年月		公務傷病による恩給請求書 (給与) 公務傷病による恩給を {故矣}されたく、証拠書類を添えて請求します。

第三号書式

現 住 所	退職当時の階級・官職名	退職年月日		総務大臣	公務傷病
郵便番号		年 月 日	年 月 日 (フリガナ) 請求者氏名 (※代筆の場合は、請求者の印を押してください。)	1.	公務 傷 病 による 恩 給 請 求 書 公務傷病による恩給を { 給与} されたく、証拠書類を添えて請求します。

第四号書式	

(電話番号 — —)	郵便番号	給 証 書	再審査請求書 下記恩給を給されていたところ、まだ傷病が回復していないから再審査 されたく、証拠書類を添えて請求します。 総務大臣 殿 (フリガナ) 請求者氏名
(電話番号 一 一)	郵便番号	恩 給 計 書 記 号 番 号	再審査請求書 下記恩給を給されていたところ、まだ傷病が回復していないから再審査されたく、証拠書類を添えて請求します。 総務大臣 殿 (フリガナ) 請求者氏名 (※代筆の場合は、請求者の印を押してください。)

現

慰記 、 名 門 番 門

第五号書式

現 住 所 ——————————————————————————————————	恩給証書記号番号	総務大臣 殿	公務傷病 加給の原因である家族の員数が 証拠書類を添えて請求します。
新道 府県 (電話番号 —	部	(フリガナ) 請求者氏名	公務傷病による恩給改定請求書 の員数が { 増加 } したから、下記恩給を改定されたく、 ます。
	有	年月日	給を政府されたへ

第五号書式

(電話番号 一 一)				
帮道 府県	型	中	_	現
郵便番号				
第 号	書号	証番	結号	恩記
(フリガナ) 請求者氏名 (※代筆の場合は、請求者の印を押してください。)				
五 殿 年 月 日	総務大臣	然		
証拠書類を添えて請求します。	が、	無	基	Entr
加給の原因である家族の員数が { 増加 } したから、下記恩給を改定されたく、	原因	3	加	
公務傷病による恩給改定請求書				

第六号書式

		1	(電話番号					
				都道 府県		甲	Ĥ	現
					郵便番号			
						手の名名	退職当時の 階級・官職名	退船
		ш	Я	年		ш	退職年月	漢
				(フリガナ) 請求者氏名				
ш	Д	年						
					瀴	大臣	総務大臣	
		求します。	を添えて請	-時恩給を給与されたく、証拠書類を添えて請求します。	を給与された	整絡	一平	
		共	松 請	一時恩				

第六号書式

	現 住 所	郵便番号	退職当時の 階級・官職名	退職年月日	_			総務大臣 殿	一時恩給を給与さ	
(電話番号 — —)	都道 府県	中		年 月 日	(※代筆の場合は、請求者の印を押してください。)	(フリガナ) 請求者氏名	年 月 日		- 時恩給を給与されたく、証拠書類を添えて請求します。	一時恩給請求書

第七号書式

現 住 所	死亡年月日	公務員(旧軍人等)氏名		総務大臣	扶助料を終
野便番号 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	年月日との続柄	公 務 員	年 月 日 (フリガナ) <u>請求者氏名</u>	殿	扶 助 料 請 求 書 扶助料を給与されたく、証拠書類を添えて請求します。

第七号書式

	選		列	軍公						
	弁		死亡年月日	、務員(旧 【人等)氏名				総務大臣	扶助料を	
(電話番号 - 一)	所	郵便番号	日 年 月 日との続柄	公務員	(※代筆の場合は、請求者の印を押してください。)	(フリガナ) 請求者氏名	年 月 日	市 卿	扶助料を給与されたく、証拠書類を添えて請求します。	扶助料請求書

第八号書式

(會託悉早 — — —			
都道	野	Ĥ	現
郵便番号 ————————————————————————————————————			
年 月 日	ЯН	失権年月	来
	期 料 氏 名	扶者	前権
求者の公務員(旧軍人等)との続柄	9		田井
(フリガナ) 請求者氏名			
年 月			
观		総務大臣	
扶助料を給与されたく、証拠書類を添えて請求します。	がかれ	扶助	
扶助料請求書			
			_

F	曲 子 男 無 便 番 号	失権年月日	前扶助粹権者氏名	請求者の公務員(旧軍	(%	7		総務大臣 殿	扶助料を給与されたく、証拠書類を添えて請求します。	
府県 (電話番号		并		人等)との続柄	代筆の場合は、請求者	(フリガナ) 請求者氏名			処書類を添えて請求しま	扶助料請求書
		Я			(※代筆の場合は、請求者の印を押してください。)		年 月 日		时。	-10

第九号書式

	選		死亡	公務					
	住 所		死亡年月日	務員(旧 人等)氏名			総務大臣	傷病者遺	
(電話番号 — —)	都道	郵便番号	年 月 日との続柄	公 務 員	(フリガナ) 請求者氏名	年月日		傷病者遺族特別年金を給与されたく、証拠書類を添えて請求します。	傷病者遺族特別年金請求書

第九号書式

第十号書式

	現 住 所		扶助料証書 記 号 番 号			総務大臣 殿	下記扶助	
(電話番号 — —)	都道 府県	郵便番号	第	(フリガナ) 請求者氏名	年 月 日	1. 潛	下記扶助料を改定されたく、証拠書類を添えて請求します。	扶助料改定請求書

第十号書式

F	Н Н	扶助料証書記 号番号		総務大臣	下記扶助料	
府県 (電話番号 — —	郵便番号	第号	(フリガナ) 請求者氏名 (※代筆の場合は、請求者の印を押してください。	年 月	下記扶助料を改定されたく、証拠書類を添えて請求します。	扶助料改定請求書
				ш		

第十一号書式

1	現住所	失権年月日	失権した者 の 氏 名			総務大臣	扶助料証	
	郡)() 中	年 月 日		(フリガナ) 請求者氏名	年月日	飓	扶助料証書を書き換えられたく、証拠書類を添えて請求します。	扶助料証書書換請求書

第十一号書記

(電話番号 — —)	
都道 府県	現 住 所
郵便番号	
年 月 日	失権年月日
	失権した者 の 氏 名
(フリガナ) 請求者氏名 (※代筆の場合は、請求者の印を押してください。)	
年 月 日	
潤	総務大臣
扶助料証書を書き換えられたく、証拠書類を添えて請求します。	扶助料証書
扶助料証書書換請求書	

改定されたく、証拠書類を添えて請求します。

総務大臣 殿

(フリガナ) 請求者氏名

加給(加算)の原因である遺族の員数が {増加}

加給(加算)員数の変動 による扶助料改定請求書

無上	
亭	
卌	
丌	

)			ήu		年 月 日		入したから、下記扶助料を
	規		共信				
	住		扶助料証書 記 号 番 号			総務大臣	加給(加 改定され)
(電話番号 — —)	都道	郵便番号	第 号	(フリガナ) 請求者氏名 (※代筆の場合は、請求者の印を押してください。)	年 月 日	四卿	加給 (加算) 員数の変動 による扶助料改定請求書 による扶助料改定請求書 加給 (加算) の原因である遺族の員数が { 増加 } したから、下記扶助料を したから、下記扶助料を 改定されたく、証拠書類を添えて請求します。

扶助料証書 記 号 番 号

鮱

郵便番号

职

Ĥ

用

都道 府県

(電話番号

第十三号書式

下記扶助料を改定をされたく、証拠書類を添えて請求します。

加算に関する扶助料改定請求書

総務大臣 殿

舥
+
111
山
· 曲
빞

	現 住 所		扶助料証書記号番号			総務大臣	下記扶助料	
(電話番号)	都道	郵便番号	第	請求者氏名 (※代筆の場合は、請求者の印を押してください。)	年月日	淵	下記扶助料を改定をされたく、証拠書類を添えて請求します。	加算に関する扶助料改定請求書

扶助料証書記 号番号

徭

#

(フリガナ) 請求者氏名

件

Э

ш

規

Ĥ

型

都道 府県

(電話番号

郵便番号

を添えて申請します。

在不明 年 月 日	助料権者 名	請者と公務員との続柄		(フリガナ) 申請者氏名	年 月 日	総務大臣 殿	下記扶助料権者は所在が不明であるから、扶助料を停止されたく証拠書類と添えて申請します。	扶助料停止申請書	
所在不明 年 月 日となった日	扶助料権者 氏 名	申請者と公務員との続柄	(※代筆の場合は、申請者の印を押してください。)	(フリガナ) 申請者氏名	年 月 日	総務大臣 殿	下記扶助料権者は所在が不明であるから、扶助料を停止されたく証拠書類を添えて申請します。	扶助料停止申請書	

所 在 不 明 となった日

扶助料権者 氏

#

第十五号書式

		_							
現	亚州 五州	章 止	扶助料権者 氏 名		蕊	N.	-		
帝	<u> </u>	·# #	本		総務大臣	型 注	表現		
严	⊅ #	⊞	者名			えて請求します。	:助*		
郵便番号	の 公 務 員 と の 続 柄	(次の該当する番号に○印をつけてください。)(1) 3年以下の懲役又は禁錮の刑に処せられたこと。(2) 1年以上所在不明であること。(3) 60歳未満の夫であること。		年 月 日 (フリガナ) 請求者氏名	慶	ST.	下記扶助料権者の扶助料の停止期間中扶助料を転給されたく、証拠書類を添	扶助料転給請求書	
									_

第十五号書式

現 住 所	情 **	停止 爭 由	扶助料権者 氏 名		総務大臣 殿	えて請求します。	下記扶助料	
郵便番号 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	の公務員との続柄	(次の該当する番号に○印をつけてください。)(1) 3年以下の懲役又は禁鑵の刑に処せられたこと。(2) 1年以上所在不明であること。(3) 60歳未満の夫であること。		甲してください	殿 年 月 日	4	下記扶助料権者の扶助料の停止期間中扶助料を転給されたく、証拠書類を添	扶助料転給請求書

第十六号書式

料を給与されたく、証拠書類を添えて請求します。 殿 年月日 郵便番号 公務員 お道府県 お道府県 (電話番号 ー ー)		現 住 所		死亡年月日	公務員(旧軍 人等) 氏名			総務大臣	一時扶助	
	(電話番号 一 一)	都道 荷県	郵便番号	月日との続	公 務	(フリガナ) 請求者氏名	Я		-時扶助料を給与されたく、証拠書類を添えて請求します。	一時扶助料請求書

第十六号書式

現 住 所		死亡年月日	公務員(旧軍 人等) 氏名				総務大臣 殿	一時扶助料		
都道 府県 (電話番号 —)	郵便番号	年 月 日 との続柄	公務員	(※代筆の場合は、請求者の印を押してください。)	(フリガナ) 請求者氏名	年月日	· 克克·	一時扶助料を給与されたく、証拠書類を添えて請求します。	一時扶助料請求書	

ļ
L
Ū
빠
۲
2

									2							_	
証書記号番号・年金コード 証書の発行機関	(上記の期間、勤務したことにより恩給又は共済年金を受給している場合は、その証書記号番号と発行機関を次に記入してください。)	勤務先·官職名	勤務期間 年 月~ 年 月	勤務先·官職名	勤務期間 年 月~ 年 月	((2)に〇印をつけた方は、その勤務期間などを次に記入してください。)	職員として勤務したことが { (1) ない。 (2) ある。	請求書に記入した退職年月日後、国家公務員、地方公務員又は旧公共企業体(三公社)	再就職に関する申立て(次の該当する番号に○印をつけてください。)	・国籍を失ったこと。	・在職中の職務に関する犯罪により禁錮以上の刑に処せられたこと。	・ 3年を超える懲役又は禁錮の刑に処せられたこと。	(2) 別添の刑に関する申立書に記載の刑以外に)	(1) 請求書に記入した退職年月日後	(次の該当する番号に〇印をつけてください。)	刑に処せられたこと等に関する申立て	失権事由非該当申立書

第二十七号書式

再就職に関する申立て(次の該当する番号に〇印をつけてください。)	・国籍を失ったこと。	・ 在職中の職務に関する犯罪により禁錮以上の刑に処せられたこと。	・ 3年を超える懲役又は禁錮の刑に処せられたこと。	(2) 別添の刑に関する中立書に記載の刑以外に	(1) 請求書に記入した退職年月日後	(次の該当する番号に○印をつけてください。)	刑に処せられたこと等に関する申立て	失権事由非該当申立書
----------------------------------	------------	----------------------------------	---------------------------	-------------------------	--------------------	------------------------	-------------------	------------

職員として勤務したことが 勤務期間 請求書に記入した退職年月日後、国家公務員、地方公務員又は旧公共企業体(三公社) 証書の発行機関 勤務期間 証書記号番号・年金コード (上記の期間、勤務したことにより恩給又は共済年金を受給している場合は、その証書 勤務先·官職名 勤務先·官職名 記号番号と発行機関を次に記入してください。) ((2)に〇印をつけた方は、その勤務期間などを次に記入してください。) (2) ある。 (1) ない。

上記のとおり申し立てます。

上記のとおり申し立てます。

申立者氏名 H

Ш

申立者氏名 Я Ш

第二十八号書式

再就職に関する申立て(次の該当する番号に〇印をつけてください。) 刑に処せられたこと等に関する申立て ・ 在職中の職務に関する犯罪により禁錮以上の刑に処せられたこと ・ 3年を超える懲役又は禁錮の刑に処せられたこと 年金を受給している場合は、その証書記号番号と発行機関を次に記入してください。) 証書の発行機関 証書記号番号・年金コード 勤務期間 勤務先·官職名 (三公社)職員として勤務したことが 公務員(旧軍人等)は退職(復員等)後、国家公務員、地方公務員又は旧公共企業体 次の事項に該当したことがない。 勤務先·官職名 (上記の期間、勤務した公務員が死亡したことにより、あなたが扶助料又は遺族(共済) ((2)に〇印をつけた方は、その勤務期間などを次に記入してください。) (次の該当する番号に〇印をつけてください。) 国籍を失ったこと。 公務員(旧軍人等)は 普通恩給失権事由非該当申立書 (1) 退職(復員等)後 (2) 別添の刑に関する申立書に記載の刑以外に (1) ない。 (2) ある。

国籍を失ったこと。

・在職中の職務に関する犯罪により禁錮以上の刑に処せられたこと。

第二十八号書式

2 再就職に関する申立て(次の該当する番号に〇印をつけてください。)

公務員(旧軍人等)は退職(復員等)後、国家公務員、地方公務員又は旧公共企業体
(三公社)職員として勤務したことが { (2) ある。
((2)に〇印をつけた方は、その勤務期間などを次に記入してください。)

勤務 期間 年 月 ~ 年 月

勤務先・官職名

動務 期間 年 月 ~ 年 月

勤務先・官職名
(上記の期間、勤務した公務員が死亡したことにより、あなたが扶助料又は遺族(共済)年金を受給している場合は、その証書記号番号と発行機関を次に記入してください。)

証書記号番号・年金コード

証書記号番号・年金コード

上記のとおり申し立てます。

上記のとおり申し立てます。

月 申立者氏名

Ш

Д

申立者氏名

扶助料失権事由非該当申立書

私は、公務員(旧軍人等)死亡後、次の事項に該当したことがない。

・3年を超える懲役又は禁錮の刑に処せられたこと。

・国籍を失ったこと。

・ 婚姻 (事実上の婚姻関係にある場合を含む。)したこと。

・遺族以外の者の養子となったこと。

上記のとおり申し立てます。

田

Ш

件

申立者氏名

第二十九号書式

(配偶者用)

扶助料失権事由非該当申立書

私は、公務員(旧軍人等)死亡後、次の事項に該当したことがない。

・3年を超える懲役又は禁錮の刑に処せられたこと。

・国籍を失ったこと。

・婚姻(事実上の婚姻関係にある場合を含む。)したこと。

・遺族以外の者の養子となったこと。

上記のとおり申し立てます。

田 ш

丰

申立者氏名

第三十号書式

一時恩給の請求に関する申立書

- 刑に処せられたこと等に関する申立て 請求書に記入した退職年月日後、次の事項に該当したことがない。
- ・ 3年を超える懲役又は禁錮の刑に処せられたこと。
- ・在職中の職務に関する犯罪により禁錮以上の刑に処せられたこと
- 国籍を失ったこと。
- 普通恩給等に関する申立て(次の該当する番号に〇印をつけてください。)
- (1) 昭和46年10月1日

(2) 昭和49年9月1日

において、普通恩給又は退職年金に関する恩給法以外の法令

(3) 昭和50年8月1日

の規定により旧軍人又は旧軍属としての実在職年を算入した期間に基づく退職年金を受ける権 利を有していない。

(注) 昭和46年10月1日・・・・・下士官以上としての在職年が1年以上の場合 昭和49年9月1日・・・・・下士官以上としての在職年が6月以上1年未満の場合 昭和50年8月1日・・・・・・下士官以上としての在職年が6月未満の場合又は兵の場合

上記のとおり申し立てます。

申立者氏名

第三十号書式

一時恩給の請求に関する申立書

- 1 刑に処せられたこと等に関する申立て 請求書に記入した退職年月日後、次の事項に該当したことがない。
- 3年を超える懲役又は禁錮の刑に処せられたこと。
- 在職中の職務に関する犯罪により禁錮以上の刑に処せられたこと。
- 国籍を失ったこと。
- 2 普通恩給等に関する申立て(次の該当する番号に〇印をつけてください。)
- (1) 昭和46年10月1日

(3) 昭和50年8月1日 (2) 昭和49年9月1日

において、普通恩給又は退職年金に関する恩給法以外の法令

の規定により旧軍人又は旧軍属としての実在職年を算入した期間に基づく退職年金を受ける権 利を有していない。

(注) 昭和46年10月1日・・・・・・下士官以上としての在職年が1年以上の場合 昭和49年9月1日・・・・・下士官以上としての在職年が6月以上1年未満の場合 昭和50年8月1日・・・・・・下士官以上としての在職年が6月未満の場合又は兵の場合

上記のとおり申し立てます。

Щ ш

第三十一号書式

扶助料等に関する申立て(次の該当する番号に〇印をつけてください。) 刑に処せられたこと等に関する申立て 遺族以外の者の養子となったこと。 ・ 婚姻(事実上の婚姻関係にある場合を含む。)したこと。 ・ 3年を超える懲役又は禁錮の刑に処せられたこと。 また、私は、公務員(旧軍人等)死亡後、次の事項に該当したことがない。 国籍を失ったこと。 ・ 在職中の職務に関する犯罪により禁錮以上の刑に処せられたこと。 3年を超える懲役又は禁錮の刑に処せられたこと。 公務員(旧軍人等)は退職(復員等)後、次の事項に該当したことがない。 (配偶者用) 国籍を失ったこと。 ける権利を有していない。 の法令の規定により旧軍人又は旧軍属としての実在職年を算入した期間に基づく遺族年金を受 (注) 昭和46年10月1日・・・・・・下士官以上としての在職年が1年以上の場合 私は、 昭和49年9月1日 ・・・・・下士官以上としての在職年が6月以上1年未満の場合 昭和50年8月1日・・・・・下士官以上としての在職年が6月未満の場合又は兵の場合 (3) 昭和50年8月1日 (2) 昭和49年9月1日 (1) 昭和46年10月1日 一時扶助料の請求に関する申立書 において、扶助料又は退職年金に関する思給法以外

第三十一号書式

(配偶者用) -時扶助料の請求に関する申立書

3年を超える懲役又は禁錮の刑に処せられたこと。

刑に処せられたこと等に関する申立て

- 公務員(旧軍人等)は退職(復員等)後、次の事項に該当したことがない
- ・ 在職中の職務に関する犯罪により禁錮以上の刑に処せられたこと。
- 国籍を失ったこと。
- また、私は、公務員(旧軍人等)死亡後、次の事項に該当したことがない。
- 3年を超える懲役又は禁錮の刑に処せられたこと。
- 国籍を失ったこと。
- ・ 婚姻(事実上の婚姻関係にある場合を含む。)したこと。
- 遺族以外の者の養子となったこと。
- 2 扶助料等に関する申立て(次の該当する番号に〇印をつけてください。) の法令の規定により旧軍人又は旧軍属としての実在職年を算入した期間に基づく遺族年金を受 (3) 昭和50年8月1日 (2) 昭和49年9月1日 とおいて、扶助料又は退職年金に関する恩給法以外 (1) 昭和46年10月1日
- (注) 昭和46年10月1日・・・・・・下士官以上としての在職年が1年以上の場合

ける権利を有していない。

- 昭和49年9月1日・・・・・・下士官以上としての在職年が6月以上1年未満の場合
- 昭和50年8月1日・・・・・・下士官以上としての在職年が6月未満の場合又は兵の場合

上記のとおり申し立てます。

上記のとおり申し立てます

申立者氏名

私は、公務員(旧軍人)が下の表の年金を受けていなかったことを申し立てます。	傷病者遺族特別年金の請求に関する申立
を受けていなかったこと	関する申立書

中

Д

ш

申立者氏名

			1415	障害年金		旧地方公務員等共済組合法	務員等判	旧地方公
額退職年金	減額退		HP	退職年金	ds.)	(旧公共企業体(三公社)を含む。	· 業体(二	(旧公共企
障害共済年金	障害共		育年金] 退職共済年金		組合法	国家公務員共済組合法	旧国家公
			ΔÓ	普通恩給				思給法
湽	華	9	肏	年	CTI.	制度	金	年

	年	私は、公務員を申し立てます。	
申立者氏名	Д	(人惠田)	易病者遺族
Ä.	Ш	私は、公務員(旧軍人)が下の表の年金を受けていなかったこと。中し立てます。	傷病者遺族特別年金の請求に関する申立書

年 金 制 度	年 金	の種類
思給法	普通恩給	
旧国家公務員共済組合法	〕退職共済年金	障害共済年金
(旧公共企業体(三公社)を含む。)	退職年金	減額退職年金
旧地方公務員等共済組合法	障害年金	

第三十九号書式

<u>щ</u>	対象でなくなった 年 月 日	加給の対象となっていた。 家族の氏名	
(次の該当する) つけた方は、具((1) 死亡 (2) その他(フリガナ	加給の原因
る番号に〇印 具体的な事由る 他(年		加給の原因である家族の員数の減少申立書
をつけてくださ と()内に記入	Э		員数の減少申∑
(次の該当する番号に○印をつけてください。また、(2)に○印を つけた方は、具体的な事由を()内に記入してください。) (1) 死亡 (2) その他()	В		· 上書

第三十九号書式

(次の該当する番号に○印をつけてください。また、(2)に○印をつけた方は、具体的な事由を()内に記入してください。) (1) 死亡 (2) その他()	#
年 月 日	対象でなくなった 年 月 日
フリガナ	加給の対象 となっていた 家族の氏名
加給の原因である家族の員数の減少申立書	

上記のとおり申し立てます。

上記のとおり申し立てます。

Ш

申立者氏名

ш

となる家族 加給の原因

 の 氏 名 (次の該当する番号に○印をつけてください。) この家族は、公務員(私)と (2) 別居している。 	氏 名 (次の該当する番号に○印をつけこの家族は、公務員(私)と この家族は、公務員(私)と ((2)に○印をつけた方は、下の((仕送りなど)について具体的に言
(次の該当する番号に〇印をつけてください。) この家族は、公務員(私)と { (1) 同居している。 (2) 別居している。	(次の該当する番号に○印をつけてください。) この家族は、公務員(私)と { (1) 同居している。 この家族は、公務員(私)と { (2) 別居している。 ((2)に○印をつけた方は、下の[]欄に公務員との間の生活上の依有(仕送りなど)について具体的に記入してください。)
	((2)に○印をつけた方は、下の〔〕欄に公務員との間の生活上の依存 (仕送りなど)について具体的に記入してください。)

上記のとおり申し立てます。

且

Ш

丰

田

Ш

(※代筆の場合は、申立者の印を押してください。)

申立者氏名

申立者氏名

公務員(旧軍人等)との生計関係申立書

(次の該当する番号に〇印をつけてください。)

私は、公務員の死亡当時、公務員と (1) 同居していた。

(2) 別居していた。

(仕送りなど)について具体的に記入してください。)

((2)に〇印をつけた方は、下の[]欄に公務員との間の生活上の依存関係

上記のとおり申し立てます。

田 Ш

年

申立者氏名

第四十二号書式

公務員(旧軍人等)との生計関係申立書

(次の該当する番号に〇印をつけてください。)

私は、公務員の死亡当時、公務員と (1) 同居していた。

(2) 別居していた。

(仕送りなど)について具体的に記入してください。) ((2)に〇印をつけた方は、下の〔〕欄に公務員との間の生活上の依存関係

上記のとおり申し立てます。

田

Ш

串

申立者氏名

第四十三号書式

加給(加算) の原因となる。	加給(加算)の原因となる遺族の生計関係申立書 フリガナ 公 務	関係申立書 公 務 員
(次の該当す	0	
この遺族は	この遺族は、公務員の死亡当時、公務員と (2) 5	(2) 別居していた。
((2)に〇印: (仕送りなど	((2)に〇印をつけた方は、下の〔 〕欄に公務員との間の生活上の依存関係 (化送りなど)について具体的に記入してください。)	問の生活上の依存関係
(次の該当	(次の該当する番号に○印をつけてください。) _【 (1) 同居している。	
この遺族は	この遺族は、現在、請求者と{(2)別居している。	
((2)に〇印: (仕送りなど	((2)に〇印をつけた方は、下の〔 〕欄に請求者との間の生活上の依存関係 (仕送りなど)について具体的に記入してください。)	問の生活上の依存関係
上記のと	上記のとおり申し立てます。	

申立者氏名

(※代筆の場合は、申立者の印を押してください。)

Д

Д

Ш

徭
1
+
[1]
卓
₩
井

加給(加算)の原因となる遺族の生計関係申立書
造族の氏名
(次の該当する番号に○印をつけてください。)
「(1)同居していた。
1の通販は、公務員の光口目転、公務員の (2)別居していた。
(2)に〇印をつけた方は、下の[]欄に公務員との間の生活上の依存関係(4-3)のよびについて目は始ける11 アンダント
(次の該当する番号に○印をつけてください。)
この遺族は、現在、請求者と { (1) 同居している。 (2) 別居している。
(2)に○印をつけた方は、下の〔〕欄に請求者との間の生活上の依存関係 (仕送りなど)について具体的に記入してください。)

第四十四号書式

年金のき	年金の受給に関する申立書
(次の該当する番号に〇印をつけてください。	ださい。)
私(扶助料請求者)は、下の表の年金を	bc $\left\{ egin{array}{ll} (1) & {\it Sth} {\it Closs}, \ (2) & {\it Sth} {\it Closs}, \ \end{array} ight.$
(「(1)受けている。」に〇をつけた方は、下	(「(1)受けている。」に○をつけた方は、下の表の受けている年金の種類の番号に○印をつけ、
該当の年金証書の写し(年金額改定通知	該当の年金証書の写し(年金額改定通知書又は年金振込通知書でも可)を添付してください。
年 金 制 度	年金の種類(年金コー
恩給法	1 普通恩給 2 増加恩給 3 傷病年金
厚牛年命保險 決	1 老齢厚生年金(1150) 2 障害厚生年金
年 土 十 惠 米 茨 茂	3 老齢年金(0130) 4 障害年金(0330)
国民任众法	1 障害基礎年金(1350, 2650, 5350, 6350)
国民十进行	2 障害年金(0620)
船員保険法	1 老齢年金 2 障害年金
旧国家公務員共済組合法	
(旧公共企業体(三公社)を含む。)	退職共済年金 2
旧地方公務員等共済組合法	2. 远镜牛虫 4. 咸贺远镜牛虫 5. 暗油角伞
旧私立学校教職員共済法	- F
旧農林漁業団体職員共済組合法 (特例年金給付)	1 特例退職共済年金2 特例障害患者年金3 特例障害患者年金4 特例退職年金5 特例減額退職年金6 特例障害年金
地方公務員の退職年金に関する条例	1 退職年金 2 退隱料 3 障害年金 4 増加退隱料 5 傷病年金
日本製鉄八幡共済組合	1 退職年金 2 障害年金
旧執行官法	1 普通恩給 2 増加恩給
共済組合(旧令)等特別措置法	1 退職年金 2 障害年金 3 公務傷病年金
戦傷病者戦没者遺族等援護法	1 障害年金

第四十四号書式

年金の	年金の受給に関する申立書	
(次の該当する番号に○印をつけてください。	ださい。)	
私(扶助料請求者)は、下の表の年金を	$ \left\{ \begin{array}{c} (1) \\ (2) \end{array} \right. $	受けている。
(「(1)受けている。」に○をつけた方は、下の表の受けている年金の種類の番号に○印をつけ、 該当の年金証書の写し(年金額改定通知書又は年金接込通知書でも可)を添付してください。	カ表の受けている年金の種類 書又は年金振込通知書でも可	の番号に〇印をつけ、 []を添付してください。)
年 金 制 度	年金の種類(年	(年金コード)
恩給法	1 普通恩給 2 増加恩給	台 3 傷病年金
厚生年金保険法	1 老齢厚生年金(1150) 3 老齢年金(0130)	2 障害厚生年金(1350) 4 障害年金(0330)
国民年金法	1 障害基礎年金(1350, 2650, 5350, 6350) 2 障害年金(0620)	2650, 5350, 6350)
船員保険法	1 老齢年金	2 障害年金
旧国家公務員共済組合法 (旧公共企業体(三公社)を含む。)	退職共済年金	2 障害共済年金
旧地方公務員等共済組合法 旧私立学校教職員共済法	5 障害年金	4)
旧農林漁業団体職員共済組合法 (特例年金給付)	1 特例退職共済年金 3 特例障害農林年金 5 特例減額退職年金	2 特例障害共済年金4 特例退職年金6 特例障害年金
地方公務員の退職年金に関する条例	1 退職年金 2 退隱料 4 増加退隱料 5 傷病年金	3 障害年金 È
日本製鉄八幡共済組合	1 退職年金	2 障害年金
旧執行官法	1 普通恩給	2 増加恩給
共済組合(旧令)等特別措置法	1 退職年金 2 障害年金	3 公務傷病年金
戦傷病者戦没者遺族等援護法	1 障害年金	

 権
 利
 取
 得
 年
 月

 年金コード又は証書記号番号

 2証書の発行機関
 上記のとおり申し立てます。 利 取 得 年 月 月 申立者氏名 (※代筆の場合は、申立者の印を押してください。) Ш 半

年金コード又は証書記号番号 1 証 書 の 発 行 機 関

癬

中

維 神 (○印をつけた年金の基礎年金番号などを下の欄に記入してください。)

年金コード又は証書記号番号

取得年月

年

書の発行機関

上記のとおり申し立てます。 年 利 取 得 年 月

月 申立者氏名

Ш

#

2 証

Ħ

書の発行機関

升

年金コード又は証書記号番号

盘

平 (4)

紳 中 (〇印をつけた年金の基礎年金番号などを下の欄に記入してください。)

第四十五号書式

	加給(加算)の原因である遺族の員数の減少申立書
加給(加算)の 対象となっていた- 遺 族 の 氏 名	+ # W
対象でなくなった 年 月 日	年 月 日
	(次の該当する番号に○印をつけてください。また、(2)に○印をつけた方は、具体的な事由を()内に記入してください。)
事 田	(1) 死亡
	(2) その他(

第四十五号書式

# #	対象でなくなった 年 月 日	加給(加算)の 対象となっていた- 遺族の氏名	
(次の該: つけたナ (1) ^万 (2) そ		フリガナ	加給(加算
(次の該当する番号に○印をつけてください。また、(2)につけた方は、具体的な事由を()内に記入してください。) (1) 死亡	年		加給(加算)の原因である遺族の員数の減少申立書
を()内に語	月		ミの員数の演
(次の該当する番号に○印をつけてください。また、(2)に○印をつけた方は、具体的な事由を()内に記入してください。) (1) 死亡 (2) その他()	Н		炎 少申立書

上記のとおり申し立てます。

上記のとおり申し立てます。

Ш

Д П

申立者氏名

一時恩給に関する申立書

(階級·官職名)

を退職した

号の一時恩給裁定通知

ことにより、

艇

(恩給種別)

年

Щ

ことにより、

舥

(恩給種別)

升

田

書を受けたことがある。

(次の該当する番号に〇印をつけてください。)

(1) 返還する。

(2) 返還しない。

この一時恩給を

申立者氏名 Д Ш 上記のとおり申し立てます。

上記のとおり申し立てます。

丰 田

ш

(※代筆の場合は、申立者の印を押してください。)

第四十六号書式

一時恩給に関する申立書

(階級·官職名)

を退職した

号の一時恩給裁定通知

書を受けたことがある。

(次の該当する番号に〇印をつけてください。)

この一時恩給を (1) 返還する。 (2) 返還しない。

申立者氏名

一時恩給に関する申立書

私は、死亡した公務員が受けるべきであった一時恩給を請求し、 一時恩給に関する申立書

(次の該当する番号に〇印をつけてください。) この一時恩給を ことがある。 (恩給種別) 上記のとおり申し立てます。 私は、死亡した公務員が受けるべきであった一時恩給を請求し、 胣 (1) 返還する。 (2) 返還しない。 号の一時恩給裁定通知書を受けた

(次の該当する番号に〇印をつけてください。)

ことがある。

(恩給種別)

無

号の一時恩給裁定通知書を受けた

この一時恩給を

(1) 返還する。

(2) 返還しない。

上記のとおり申し立てます。

年

Н

Ш

串

且

Ш

申立者氏名

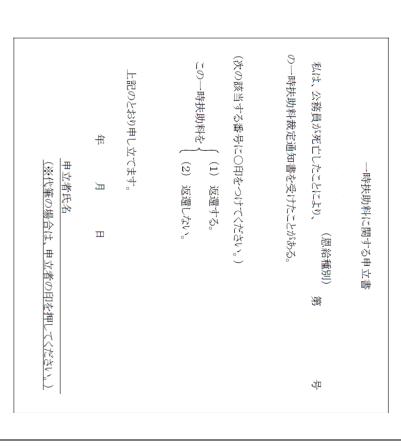
(※代筆の場合は、申立者の印を押してください。)

申立者氏名

30

の一時扶助料裁定通知書を受けたことがある。 (次の該当する番号に〇印をつけてください。) この一時扶助料を 私は、公務員が死亡したことにより、 上記のとおり申し立てます。 年 (1) 返還する。 (2) 返還しない。 申立者氏名 一時扶助料に関する申立書 Д Ш (恩給種別) 舥 卓

第四十八号書式



	現住	申請理	1	恩給証の日	恩給証記号番		総務大臣	下記
(電話番号 — —)	郵便番号	田(1亡朱 2損傷 3その他)	(次の該当する番号に○印をつけ、その時)[]欄に詳しく記入してください。)	書 年 月 日	中書第	月 3		恩給証書再交付申請書下記恩給証書の再交付を申請します。
		——		既の				

 \bigcirc に関する省令(昭和三十一年総理府令第九十三号) 旧軍人等の遺族に対する恩給等の特例に関する法律の規定により給すべき扶助料又は改定すべき扶助料の請求手続

(留型) 改正案	(四世) 現
(別記) 第一号書式	(別記)第一号書式
(配偶者用) 失権事由非該当申立書	(配偶者用) 失權事由非該当申立書
1 普通恩給失権事由非該当申立て公務員(旧軍人等)は、退職(復員等)後、次の事項に該当したことがない。	1 普通恩給失権事由非該当申立て 公務員(旧軍人等)は、退職(復員等)後、次の事項に該当したことがない。
・ 3年を超える整役又は禁錮の刑に処せられたこと。	・ 3年を超える懲役又は禁錮の刑に処せられたこと
・ 在職中の職務に関する犯罪により禁輸以上の刑に処せられたこと。	・ 在職中の職務に関する犯罪により禁錮以上の刑に処せられたこと
・ 国籍を失ったこと。	・国籍を失ったこと。
2 扶助料失権事由非該当申立て	2 扶助料失權事由非該当申立て
私は、公務員(旧軍人等)死亡後、次の事項に該当したことがない。	私は、公務員(旧軍人等)死亡後、次の事項に該当したことがない。
・ 3年を超える懲役又は禁錮の刑に処せられたこと。	・ 3年を超える懲役又は禁錮の刑に処せられたこと
国籍を失ったこと。	国籍を失ったこと。
・ 婚姻(事実上の婚姻関係にある場合を含む。)したこと。	・ 婚姻(事実上の婚姻関係にある場合を含む。)したこと
・ 遺族以外の者の養子となったこと。	・ 遺族以外の者の養子となったこと
上記のとおり申し立てます。	上記のとおり申し立てます。
年月日	年月
申立者氏名	申立者氏名

(配偶者用)

扶助料失権事由非該当申立書

私は、公務員(旧軍人等)死亡後、次の事項に該当したことがない。

- ・ 3年を超える懲役又は禁錮の刑に処せられたこと。
- 国籍を失ったこと。
- ・ 婚姻(事実上の婚姻関係にある場合を含む。)したこと。
- 遺族以外の者の養子となったこと。

扶助料失権事由非該当申立書

(配偶者用)

私は、公務員(旧軍人等)死亡後、次の事項に該当したことがない。

- ・ 3年を超える懲役又は禁錮の刑に処せられたこと。
- 国籍を失ったこと。
- 婚姻(事実上の婚姻関係にある場合を含む。)したこと。
- 遺族以外の者の養子となったこと。

上記のとおり申し立てます。

上記のとおり申し立てます。

年

Щ

Ш

Ш

(※代筆の場合は、申立者の印を押してください。)

升 Н

徭 私は、公務員(旧軍人等)死亡後したことにより、 上記のとおり申し立てます。 平 申立者氏名 号の一時扶助料裁定通知書を受けたことがある。 一時扶助料既裁定申立書 П Ш (恩給種別) 徭 私は、公務員(旧軍人等)死亡後したことにより、 上記のとおり申し立てます。 併 申立者氏名 (※代筆の場合は、申立者の印を押してください。) 号の一時扶助料裁定通知書を受けたことがある。 一時扶助料既裁定申立書 Ш

(恩給種別)

Ш

第四号書式

鬼 住 所	扶助料証書記 号番号		下記扶助料の総務大臣 殿
郵便番号	第 号	年 月 日 (フリガナ) 請求者氏名	扶助料年額改定請求書 下記扶助料の年額を改定されたく、証拠書類を添えて請求します。 総務大臣 殿

第四号書式

	馬	共出		≫	_
	亩	助料証号 番		総務大臣	· 記扶助
	严	書号		爂	**
(電話番号 — —)	郵便番号	第	(フリガナ) 請求者氏名 (※代筆の場合は、請求者の印を押してください。)	年 月 日	扶助料年額改定請求書 下記扶助料の年額を改定されたく、証拠書類を添えて請求します。

年 月 日中立者氏名	(次の該当する番号に○印をつけてください。) この遺族は、現在、請求者と {(1) 同居している。 (2) 別居している。 ((2)に○印をつけた方は、下の[]欄に請求者との間の生活上の依存関係 (仕送りなど)について具体的に記入してください。) } L記のしたが申しなアます	(次の該当する番号に〇印をつけてください。) この遺族は、公務員(旧軍人等)死亡当時、公務員と { (1) 同居していた。 この遺族は、公務員(旧軍人等)死亡当時、公務員と { (2) 別居していた。 ((2)に〇印をつけた方は、下の[]欄に公務員との間の生活上の依存関係 (仕送りなど)について具体的に記入してください。)	加給の原因 フリガナ 公 務 員となる遺族 との 続 柄	加給の原因となる遺族の生計関係申立書
			加給の原因 となる遺族 の 氏 名	

(別記) 第一号書式 退職当時の所 属 議 院 国会議員退職年月日 選 Ħ 普通退職年金を裁定されたく、証拠書類を添えて請求します。 総務大臣 殿 郵便番号 (次の該当する番号に○印をつけてください。) 1 衆議院 2 参議院 (電話番号 普通退職年金請求書 改 # 正 Ш 案 (別記) 第一号書式 退職当時の所 属 議 院 黒 国会議退職年月 \Rightarrow 普通退職年金を裁定されたく、証拠書類を添えて請求します。 総務大臣 殿 郵便番号 (次の該当する番号に○印をつけてください。) 1 衆議院 2 参議院 (※代筆の場合は、請求者の印を押してください。 普通退職年金請求書 都道 府県 現 行 ш

その効力を有することとされる旧国会議員互助年金法施行規則(昭和三十三年総理府令第四十一号)国会議員互助年金法施行規則を廃止する等の省令(平成十八年総務省令第四十九号)附則第二条の規定によりなお

(傍線部分は改正

部分)

 \bigcirc

公務傷病年金を裁定されたく、証拠書類を添えて請求します。

公務傷病年金請求書

総務大臣 殿

(フリガナ) 請求者氏名

徭	
与	
1	
井	

現 住 所		退職当時の所属 議 院	国 会 議 員退職年月日		**沧矛	公務	
所則 (電話番号 — —)	郵便番号 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	(次の該当する番号に○印をつけてください。) 1 衆議院 2 参議院	年月日	年 月 日 (フリガナ) 請求者氏名 <u>(※代筆の場合は、請求者の印を押してください。)</u>		公務 傷病年金を裁定されたく、証拠書類を添えて請求します。	公務傷病年金請求書

退職当時の 所 属 議 院

(次の該当する番号に○印をつけてください。) 1 衆議院 2 参議院

郵便番号

1

現住

都道 府県

(電話番号

国会議員退職年月日

#

ш

旧国会議員互助年金法第15条第2項の規定により普通退職年金の支給 の停止を解除されたく、証拠書類を添えて請求します。

普通退職年金停止解除請求書

総務大臣 殿

(フリガナ) 請求者氏名

併

Щ

Ш

徭
卓
뺒
丌

郵便番号 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	年 月 日 (フリガナ) 請 求者氏名 (<u>※代筆の場合は、請求者の印を押してください。</u>)	総務大臣 殿	旧国会議員互助年金法第15条第2項の規定により普通退職年金の支給 の停止を解除されたく、証拠書類を添えて請求します。	普通退職年金停止解除請求書

現

 $\stackrel{\frown}{\mathbb{H}}$

(電話番号

郵便番号

現 住 所		互助年金証書記号番号		総務大臣	下記公再審査さ	
都道 所県 (電話番号 — —)	郵便番号 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	第	年 月 日 (フリガナ) 請求者氏名	大臣 殿	下記公務傷病年金を給されていたところ、まだ傷病が回復していないから、 再審査されたく、証拠書類を添えて請求します。	再審査請求書

現住所 (電話番号	五助年金部 書記号番号 第	(フリガナ) 請 求者氏名 (※代筆の場	総務大臣 殿	下記公務傷病年金を給されていたところ、まれ再審査されたく、証拠書類を添えて請求します。	再審査
格道 格道 格河	神	年 月 日 (フリガナ) 清求者氏名 (※代筆の場合は、請求者の印を押してください。)		下記公務傷病年金を給されていたところ、まだ傷病が回復していないから、 審査されたく、証拠書類を添えて請求します。	再審査請求書

(電話番号 — —)	
都道 所県	現 住 所
郵便番号	
年月日との続柄	死亡年月日
国分議員	国会議員の氏名
(フリガナ) 請 求者氏名	
年 月 日	
遷	総務大臣
遺族扶助年金を裁定されたく、証拠書類を添えて請求します。	遺族扶助年:
遺族扶助年金請求書	

(選	現 住 所	郵便番号	死亡年月日	国会議員の氏名	(フ <u>講</u>		総務大臣 殿	遺族扶助年金を裁定さ	
(電話番号 —	希 道	- П	年 月 日	- III	(フリガナ) 請求者氏名 <u>(※代筆の場合は、請求者の印を押してくださ</u> い。	年		遺族扶助年金を裁定されたく、証拠書類を添えて請求します。	遺族扶助年金請求書
			17 の 続 格 -	国 対 数 で 可 に の に の に の に の に の に の に の に の に の に	を推してください。)	Я		という。	

現 住 所	失権年月日	前遺族扶助年金権者氏名	請求者の国	総務大臣 殿	遺族扶助年金:
郵便番号 — — —)	年 月 日		会議員との続柄	年 月 日 (フリガナ) 請 求者氏名	遺族扶助年金請求書 遺族扶助年金を裁定されたく、証拠書類を添えて請求します。

現 住 所	中	前遗族扶助年金権者氏名	請求者の国			総務大臣 殿	遺族扶助年金	
郵便番号 — —)	年月月		分業員との結束	(フリガナ) 請求者氏名 (※代筆の場合は、請求者の印を押してください。)	年 月 日	P. P	遺族扶助年金を裁定されたく、証拠書類を添えて請求します。	遺族扶助年金請求書

事書換請求書 ・	互助年金証書を書き換えられた(、 5大臣 殿 (フリガナ) 	互助年金 記
	証拠書換請求書 証拠書類を添えて請求	重都号 日助年金証書書換請求書

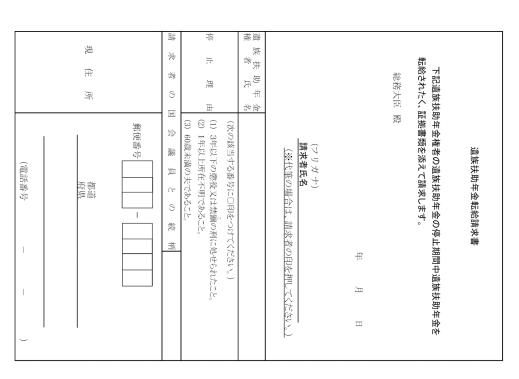
1号書式

現 住 所(電話番号	失權年月日	米権のため、	(フリガナ) 請求者氏名 (※代筆のお	ユ男牛金融書を書き換えられ 総務大臣 殿	互助年では、「「「「「「」」」では、「「」」では、「「」」では、「」」では、「「」」では、「「」」では、「「」」では、「「」」では、「「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」では、「
都道	年 月 日		年 月 日 (フリガナ) 清求者氏名 (<u>※代筆の場合は、請求者の印を押してください。)</u>	ユ 男 午 宝 証 書 を 書 さ 換 え ら れ だく、 証 拠 書 類 を 深 え く 請 水 し ま 9 。 総 務 大 臣 殿	互助年金証書書換請求書

所 在 不 明 となった日 年 月 日	道 族 扶 男 年金 権 者 凡 名	申請者の国会議員との統柄	(フリガナ) 申請者氏名	年月日	総務大臣 殿	下記遺族扶助年金権者は所在が不明であるから、遺族扶助年金を停止されたく、証拠書類を添えて申請します。	遺族扶助年金停止申請書
------------------------	--------------------	--------------	-----------------	-----	--------	--	-------------

所在となっ	遺金蒸雑					OL	
: 不 明 った 日	扶 助 年 者 氏 名	者の			総務大臣	下記遺族は	
		JI JV			機	下記遺族扶助年金権者は所在が不明されたく、証拠書類を添えて申請します。	n.
		震回って	(フリガナ) 申請者氏名 (※代筆の場合は			者は所在がえて申請しる	貴族扶助年 :
年		の続				下記遺族扶助年金権者は所在が不明であるから、遺族扶助年金を停止 いたく、証拠書類を添えて申請します。	遺族扶助年金停止申請書
月			申請者の印を押してください。	单		から、遺族	п
Ш			してくださ	H		扶助年金	
				ш		· を 中 上	

				ন্ট		遺権					
	現		*	⊨		換				1011	
	Ĥ		*			 共			-Mc	路 土	
				曲		是天			然	記述され	
	严		0	_		中			総務大臣	下記遺族扶助年金権者の遺族扶助年金の停止期間中遺族扶助年金を転給されたく、証拠書類を添えて請求します。	
			H	H-	\dashv	金名			憑	裁論	
		典	ИÞ	(2) (3)	(XC)				NP.	年 或	
		郵便番号		3年以下の懲役又は禁錮の刃 1年以上所在不明であること。 60歳未満の夫であること。	の該					権	٠
		中	巍	アルドー	中温		(フリガナ) 請 求者氏名			者をの系	黄蒸
(電話番号)III	の総所在	番る		H H			動してよ	拱
聯	帝 帝 連		~	多別の	4		± 44			扶請	有
da l	2 III:k		9	17.00 17.00						思いません	金
		1		いる。と	12					# ⊕ (±	諮
			然	第2%	410					。一つ	遺族扶助年金転給請求書
			柄	3年以下の懲役又は禁錮の刑に処せられたこと。 1年以上所在不明であること。 60歳未満の夫であること。	(次の該当する番号に○印をつけてください。)					上	□ \
				4	125			平			
				int.	°)					逆	
				U.				Э		挨	
				۰						脚	
								ш		中	
										144	
				1							



上記のとおり申し立てます。

上記のとおり申し立てます。

伟

Н

Ш

(※代筆の場合は、申立者の印を押してください。)

申立者氏名

#

Ш

申立者氏名

第十五号書式

生計関係申立書
(次の該当する番号に〇印をつけてください。)
私は、国会議員の死亡当時、国会議員と
((2)に〇印をつけた方は、下の[]欄に国会議員との間の生活上の依存関係(仕送りなど)について具体的に記入してください。)

互助年金証書再交付申請書 下記互助年金証書の再交付を申請します。 総務大臣 殿
(7世界十)
(フリガナ) 受給者氏名 (年 月 日生)
互助年金証書 第 号 互助年金証書 記 号 番 号 第 書 号
互助年金証書 年 月 日 互助年金証書 の 日 付 の 日 付
(次の該当する番号に○印をつけ、その時期、場所、事情などを []欄に詳しく記入してください。)
1 亡失 2 損傷 3 その他
増 田
郵便番号 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —
住 所
(電話番号 – –)

(別記) 第一号書式 退職当時の 階 級 現 退職年月日 特例傷病恩給を $\left\{ 給与
ight\}$ されたく、証拠書類を添えて請求します。 Ħ 総務大臣 殿 里 郵便番号 (フリガナ) 請求者氏名 特例傷病恩給請求書 改 都道 府県 併 (電話番号 1 正 Ш 併 案 Ш Ы Ш (別記) 第一号書式 退職当時の 階 殺 思 退職年月日 特例傷病恩給を $\left\{ 給与 \right\}$ されたく、証拠書類を添えて請求します。 Ħ 総務大臣 殿 里 郵便番号 (フリガナ) 請求者氏名 (※代筆の場合は、請求者の印を押してください。) 特例傷病恩給請求書 都道 府県 # 現 1 (電話番号 Щ 行 # Ш ш

 \bigcirc 十六年総理府令第三十三号) - 恩給法等の一部を改正する法律附則第十三条の規定により給すべき特例傷病恩給の請求手続に関する省令 (昭和四

、傍線部分は改正

部分)

普通恩給失権事由非該当申立書

請求書に記入した退職年月日後、次の事項に該当したことがない。

- ・ 3年を超える懲役又は禁錮の刑に処せられたこと。
- ・ 在職中の職務に関する犯罪により禁錮以上の刑に処せられたこと。
- 国籍を失ったこと。

上記のとおり申し立てます。

Ш

申立者氏名

第二号書式

普通恩給失権事由非該当申立書

請求書に記入した退職年月日後、次の事項に該当したことがない。

- ・ 3年を超える懲役又は禁錮の刑に処せられたこと。
- ・ 在職中の職務に関する犯罪により禁錮以上の刑に処せられたこと。
- 国籍を失ったこと。

上記のとおり申し立てます。

Э

Ш

申立者氏名

(※代筆の場合は、申立者の印を押してください。)